**第７回　河原地域振興会議**

日　時　平成31年1月30日（水）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　午後3時30分～午後5時10分

場　所　河原町総合支所　第6会議室

**〔出席委員〕**

竹田賢一会長、小谷加代子副会長、山縣恒明委員、楮原典子委員、倉信　敬委員　　　　、坂本悦子委員、西尾　純委員、奥谷仁美委員、荻原元春委員、坂本綾子委員　以上10名

**〔欠席委員〕**

中村佳紀委員、河毛　寛委員

**〔出席議員〕**

山田延孝市議会議員、荻野正己市議会議員

**〔事務局〕**

遠藤支所長、九鬼副支所長、西山市民福祉課長、前田産業建設課長、平尾地域振興課課長補佐

**〔傍聴者〕**

なし

**会議次第**

1. 開　会
2. 会長あいさつ
3. 報告・協議事項

（１）河原町総合支所増築・改修工事について【資料1】

（２）国英地区活性化施設（仮称）について【資料2】

（３）中山間地域等の地域活性化出前座談会について【資料3】

（４）その他

　４　その他

　５　閉　会

**議事概要**

**（１）河原町総合支所増築・改修工事について**

（九鬼副支所長　資料１により説明）

（委　員）自家発電機はどこにできるのか。

（事務局）自家発電機は現在第２庁舎の１階にあり、同じ場所に新たなものが設置されます。

（委　員）これは高くしないと災害の時に困ると思うがどうか。

（事務局）建物の１階ですが、地上１ｍ５０ｃｍぐらいあるので大丈夫だと思います。

（委　員）コミュニティセンターと社協へ行くための通路が作られているが、車椅子で来られる方の対策はできているのか。

（事務局）コミュニティセンターの前斜めに滑り止めをつけたスロープを設置しています。

**（２）国英地区活性化施設（仮称）について**

　　　（九鬼副支所長　資料２により説明）

（委　員）管理は公民館がするのか。

（事務局）いきいき国英まちづくり協議会等と協議しているところですが、維持費については市が予算を組んで委託するのか、指定管理にするのか、今後、地域の方と詰めていきます。

（委　員）指定管理にすると町外の方でも受けることができるが、やはり地元が管理した方が良い。

（事務局）屋内運動場利用のスタート時は、公民館の職員がかかわらざるを得ないかなと考えています。多目的交流室では、まちづくり協議会でカフェや食堂などの運営について検討されていますが、体制が整うまでは市が関わっていかないといけないと思っています。

（委　員）地元の要望があれば、防災倉庫や避難所を兼ねた施設を建設してもらえるのか。

（事務局）国英地区は、八東川と千代川が合流しており、八東川と千代川が氾濫した場合には徳吉、今在家、片山、福和田などが浸水すると想定されます。そのため緊急時の避難場所として、国英地区公民館を含めて、約２５０人が利用できる施設の整備を行うというものです。なお、千代川の左岸側の地域は、学校や体育館が避難場所に指定されていますので、新たな施設の建設は難しいと思います。

（委　員）避難場所として２５０人が避難できるとのことだが、国英地区の人達が概ね避難できるのか。

（事務局）地区公民館と合わせてそういう計画になっています。

（委　員）河原町内全体でみなさんが避難できる状況になっているか。

（事務局）浸水害の場合は、総合体育館や小中学校の２階以上、土砂災害が予想される場合は、地区公民館に多くの方が避難できる場所を想定しています。

（委　員）新しい施設ができて避難場所が増えた場合には、防災避難マップを整理して、どこの地域でも避難場所を選択できるようにするといい。

（事務局）災害の種類ごとに決めていかないといけないと思いますが、そのことが一番早急に整備していかないといけない課題だと考えております。

（委　員）活性化施設について、進入経路が公民館の際を通るようになっているが、雪が降ったときや夜など公民館側駐車場がいっぱいになっている時などすれ違えるのか。もう1つ階段側から道路が出来たほうがいいと思う。

（事務局）協議した結果、管理という観点から公民館の前を通ったほうがいいという委員さんの意見が多かったです。

（委　員）私は今在家に住んでいるが、6年前の9月に片山の東側、今在家橋の下手の堤防が壊れ、もう少しで決壊する寸前でした。その後、国交省の方が、「堤防に頼らないで、逃げること。」と言われた。昨年は、国交省等と一緒に避難マップの作成を始めたところであり、今後ますます避難場所が大事になってくると思うが、そのような場所を作っていただけるということで、大変感謝している。

（委　員）まずは、災害時の避難所としてもの機能、次に地域活性化の拠点としての機能も大事だと思う。国英地区の方だけではなく、町内外から広く集まれる、安心できる施設として、普段から活発に人が出入りできるような計画を作成し、この施設が拠点となり、より一層地域が活性化することを望んでいる。

**（３）中山間地域等の地域活性化出前座談会について**

　　　　（九鬼副支所長　資料３により説明）

（委　員）中山間地域振興推進員2名は、常時どこにいるのか。

（事務局）本庁の地域振興課です。

（委　員）普段は本庁で何をしているのか。

（事務局）こういった出前講座に出向いたりしています。

（委　員）中山間地域の振興を推進する業務なら、どんどん地域に出かけて行き、現状を把握して、地域の人との交流をしないといけない。河原で言えば５地区のまちづくり協議会の会合に出かけて、顔を知ってもらい、あの人だったら相談したいというようにならないといけないと思う。

（事務局）担当課に伝えておきます。

（委　員）地区公民館とまちづくり協議会の一本化など地域組織のあり方の検討がされているなかで、佐治町では小さな拠点づくり事業の取組みと併せてモデル地区として取り組み、公民館を中心とした地域運営の仕組みづくりを進めている。西郷地区でも第３次のまちづくり計画を立てるにあたりいろいろな課題が見えてきて他人ごとではないと感じている。鳥取市では、公民館事業とまちづくり事業を一本化して、職員についても地域組織で採用していくという方向なのか尋ねる。

（事務局）まちづくり事業と公民館事業を一体化し、まちづくり協議会などへの補助金等を一括交付することにより地域が主体となったまちづくりと社会教育の一体的な推進を図るため、平成３１年度、希望される地域で試行的に実施するよう考えています。公民館を中心とした地域運営については、現時点で具体的に決まったものはなく、これからあり方を検討することとしています。

また、小さな拠点づくりについては、国英地区が希望され、来年度、計画作成の予算を要求しています。内容としては、カフェや食堂やお店の運営、地域交通の仕組みづくりなどを考えておられます。県や市の支援を受けながら、先進地視察や計画づくりを進めて行く予定です。

（委　員）そのようなことも希望すれば、この出前講座で説明してもらえるか。

（事務局）この出前講座だけでなく、県の専門の方からそれぞれの地域にあった指導やアドバイスなどを受けることもできます。

（委　員）地域自治組織の活動はとても大事だと思っているが、財源の確保や地域自治のあり方についての行政の考え方がよくわからないので、西郷地区としても３次計画の策定に向けて大きな課題になっている。

（事務局）西郷地区は、一般社団法人西郷工芸の郷あまんじゃくがすでに活動されており、協働推進課も状況について話を聞いてみたいと考えているようです。

（委　員）西郷地区は、工芸の郷として活発に活動しているが、八上地区などは、年齢層が高く事業の数なども少なくあまり活発な活動はできていない。地区ごとに元気なところとそうでないところの格差が出てくる。そのことが大きな課題になってくると思うが、それぞれの検証をふまえて検討していきましょう。

**（４）その他**

　　　・確定申告のお知らせ（２月１８日～２月２８日　河原町総合支所）

　　　イベントのお知らせ

・大伴家持生誕１３００年記念事業「音楽☆朗読☆劇　いやし重け夜ごと」

・西郷工芸の郷ミニフォーラム　「落語会」

・「千代川の明日を語る会」

**４　その他**

（委　員）千代川に砂利が堆積しているが撤去すべきだと思うがどうか。

（事務局）国土交通省が２月になったら河原橋から下流を撤去するとのことです。それに併せて、あゆ祭会場の整備についてもお願いしています。

　　次回は、平成３１年２月２１日（木）１３時３０分からを予定しています。

**５　閉会**